第３学年　総合的な学習の時間（生活安全）　　　　　　　　　　場所：３年１組教室

三茶の町で安全に生活しよう

指導者　　松倉　幸子

ゲストティーチャー(ＧＴ)　　地域の方

**１　目標**

　・犯罪が起こりやすい場所を知り、犯罪に遭わないように安全に行動しようとする意識をもつ。

　・犯罪が起こりやすい場所を減らすために、進んで地域に貢献しようとする態度を育てる。

**２　単元について**

　　本単元のねらいは、児童がどのような場所が犯罪被害に遭いやすいかを具体的に理解して判断できるようになり、その上でどのような回避行動を取ればよいのかを考えることができるようになることである。そのことにより、児童が地域で犯罪被害に遭うことを防止できる。地域安全マップ作りを通して、児童が危険な場所とは、｢入りやすく見えにくい｣場所であるということを知ることが目的である。こうすることで犯罪者から犯行の機会を奪い、児童の犯罪被害を防ぐことにつながると考えられている。さらに、学習を通して、地域の人々が自分たちを見守ってくれていること、自分たちにも地域の安全のためにできることがあることなどに気付き、より主体的に地域の安全に関わることができるようになることを目指す。

**３　主題に迫るための手だて**

　・危険な場所のフィールドワークを通して、地域の安全な場所、危険な場所を観察する。

　・児童それぞれが危険を回避する力をつけるために、地域安全マップの発表後、「自分がどのよ

うなことに気を付けるのか」を考える時間を確保する。

**４　指導計画　（９時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ☆ねらい　○学習活動 | ◎安全教育の視点に立った留意点　■評価 |
| １ | ☆犯罪が起こりやすい場所があることを知り、学習の  見通しをもつ。  ○「入りやすく見えにくい」場所とはどのような場所  か考える。 | ◎映像によって学習への動機付けをする。  ■危険なのは「怪しい人」ではなく「入りやすく  見えにくい場所」であることを理解している。 |
| ２ | ☆地域安全マップ作りの計画を立てる。  ○単元の見通しをもつ。  ○フィールドワークの計画を立て、フィールドワークの仕方を練習する。 | ◎フィールドワークの際に学習内容に集中できるよう、各係の役割について具体的に指導し、練習させておく。  ■フィールドワークへの意欲を持ち、友達と協力  して計画を立てている。 |
| ３ | ☆「入りやすく見えにくい」の視点を踏まえ、地域の安全な場所、危険な場所を観察する。  ○フィールドワークの視点や留意点を確認する。 | ◎児童が思わず「入りやすく見えにくい」場所に入り込んでしまうような体験をさせる。  ■危険な場所や安全な場所について、視点に基づいて具体的に調べている。 |
| ４ |
| ５ | ☆調べたことをもとに、地域安全マップを作成する。  ○地域安全マップの作り方を知る。  ○マップを作成する。  写真を貼り、コメントやインタビュー内容を書き込む。 | ◎大切なのは「どこが危険（安全）か」ではなく「なぜ危険（安全）か」であることを確認する。  ■調べた情報を整理して、地域安全マップにまと  めている。 |
| ６ |
| ７ | ☆作成した地域安全マップをもとに、学級の友達に発表し、地域の方に伝えるための工夫を考える。  ○発表で伝えたいことを話し合う。  ○他の班と発表し合い、犯罪被害に遭わないように生  活しようとする意欲をもつ。 | ◎友達の発表を聞き、犯罪被害に遭わないように  生活するための考えを広げさせる。  ■発表内容や話し方について、班の友達と協力し  て工夫している。  ■友達の発表を聞き、危険な場所について認識を  広げている。 |
| ８ |
| ９  (本時) | ☆調べたことを地域の方に発表し、地域の方と一緒に  犯罪のない町づくりをしていこうとする意欲をもつ。 | ◎ワークシートに記入させ、全員が自分自身の行  動を考えられるようにする。  ■安全に生活するための方法を具体的に考えてい  る。 |

**５　本時の展開 （９／９）**

**（１）ねらい**

　　・犯罪被害に遭わないよう安全に生活するために、自分にできることを考える。

　　・地域の安全に関わろうとする意欲をもつ。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動　・予想される児童の反応 | ◎安全教育の視点に立った留意点  ■評価（評価方法） |
| ○前時の学習を振り返り、本時の課題をもつ。  　・危険な場所の近くは、なるべく通らない。  ・子供だけで近づかないようにしたい。  　・「危険な場所」という心構えをして、防犯ブザーを  　　持ちたい。    三茶の町で安全に生活するためには、どうしたらよいだろうか。  ○各班で作成した地域安全マップを用いて、地域の安全  な場所、危険な場所について地域の方(ＧＴ)へ発表する。そこで、ＧＴの話を聞き、地域の人たちも安全な町づくりのための努力をしていることを知る。  危険な場所について  ・駐車場の奥で、ゴミがたくさんある場所  ・落書きがあって、人が関心をもっていない場所  ・高い塀があって、見えにくい場所  ・昼間でも狭くて薄暗いため、見えにくい場所  安全な場所について  ・入りにくく、見えやすい場所  ・子どもを守ろう１１０番と防犯避難所  感想  ・危険な場所の近くを通ったときは、少し気にして見てください。  ・ぼくたちもゴミを散らかさないようにするので、協力してください。  ○発表を終え、ＧＴの話を全体で交流する。    ○これまで自分たちが調べたこととＧＴの話をもとに、地域で安全に生活するためには、どうしたらよいかを考える。  　・地域の方は、地域の安全を守るために、掃除をして  　　くれていたので、自分も安全な町づくりを目指して、ポイ捨てをしないようにしたい。  　・地域の方は、地域の人同士が知り合いになるために普段からあいさつをしていたので、ぼくも近所の人にあいさつをしようと思う。 | ◎前時の振り返りの記述に基づき、意図的指  名を行う。  ◎地域の方には、事前に打ち合わせしておいた安全な町づくりのために行っている努力について話してもらう。  〈例〉  ・できるだけ掃除をしています。いつもきれ  いにしておくことで、人の目が届いている  ことを知らせるためです。  ・地域の人同士が互いをよく知るために、で  きるだけ挨拶をしています。これも、安全な町づくりにつながると思っています。  ・地域の人がいつも見ていると、犯罪が減る  のではないかと考えて、自転車にパトロー  ルの表示をつけています。  ◎地域の方の安全に関わる努力を中心にまとめていく。  ・あいさつ　・掃除　・見回りパトロール  ◎ワークシートに記入させることで、全員が  自分自身の行動を考えられるようにする。  ◎意見が偏るときは、地域の方の努力に対する意見も考えるよう促す。  ■安全に生活するための方法を、具体的に考  えている。（ワークシート） |